

**I. 貴施設に関すること**

1. 施設名 ( 舞子台病院 )
2. 所在地 ( 兵庫県 神戸市 )
3. 設置主体 ( 特定医療法人 )
4. 施設の種類
 

A 病院	B 有床診療所	C 無床診療所
D 助産所	E 介護老人保健施設	
F 訪問看護ステーション		
5. 許可病床数(病院のみ) (120 )床
6. 病床区分(複数選択可) A 一般病床 B 療養病床 C 精神病床
7. 看護単位の数 ( )単位
8. 一般病棟入院基本料区分(病院のみ)
 

・ 7:1	・ 10:1	・ 13:1
・ 15:1	・ その他	
療養病棟入院基本料区分	・ 25:1	
精神病棟入院基本料区分	・ 10:1	・ 13:1
・ 18:1	・ 20:1	・ 15:1
9. 新人看護職員の指導体制
 

専任の看護教育部門	A 有 B 無
看護部門の専任の教育責任者	A 有 B 無

(※注:「専任」とは、専ら、院内の継続教育を業務とする看護職員を配置している場合をいいます。)
10. 平成24年4月30日時点での看護職員数(実人員) ( 53 )名
11. 10. のうち、新人看護職員数(実人員) ( 2 )名
12. 11. のうち、医療機関受入研修に参加させた新人看護職員数(実人員)
 

※今年度中の予定も含めて、ご記入ください。 ( 2 )名

(※注1:「新人看護職員」とは、免許取得後に初めて就労する保健師、助産師、看護師又は准看護師を います。)

(※注2: 5. から11. については、平成24年4月30日現在にてご記入ください。)

## Ⅱ. 新人看護職員研修内容に関すること

1. 研修期間 ( )か月

\* 他職種も含めた院内全体の研修内容です

### 2. 自施設の研修プログラム

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※3 (該当項目に○を付けて下さい。)		研修場所 (※4)		時間数 / 日数	研修内容
		講義	演習				
5月	感染対策 手洗いとPPEの 着脱	○		部署外	食堂	1H	感染防止の基本を理解する 正しい手洗いとPPEの着脱方法を身につける
7月	内視鏡	○		部署外	食堂	1H	消化器内視鏡検査と処置
8月	医療安全	○		部署外	食堂	0.5H	医療安全とは何かを学び理解する
10月	認知症について	○		部署外	食堂	1H	認知症患者の症状、行動を理解し対応ができる
11月	手指衛生	○		部署外	食堂	1H	実際に手洗いを実践、チェックし正しい方法を身につける
12月	PTAの方法と 手技	○		部署外	食堂	0.5H	PTAの適応、方法、述語の管理について学ぶ

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 形式には講義・演習の当てはまる方に○印を記入して下さい。両方に○印を記入しても差し支えありません。

※3 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※4 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

### 3. 研修の指導体制の詳細(各看護単位、看護部門)

各看護単位において、看護師長が研修責任者となり、新人看護職員にはプリセプターをつけて指導している。

### 4. 医療機関受入研修を知った方法

以前から、明石市民病院の看護部長と交流があり、明石市民病院が医療機関受入研修を開始する時から知っていた。

### 5. 医療機関受入研修に参加させることを決定した理由

平成24年4月の時点で、院内に教育担当者の配置もなく、看護教育委員会も存在しなかった。よって、自施設内での研修が出来る体制ではなかったため、医療機関受入研修に参加させることとした。

### 6. 医療機関受入研修に参加させるにあたり準備・調整したこと

勤務扱いでの研修参加とした。病院長へ報告し、参加については前年度の看護部長が調整をしていた。新人職員には研修責任者(各病棟師長)により、オリエンテーションした。

### 7. 医療機関受入研修に参加している研修テーマとその理由

平成24年4月の時点では、教育担当者がおらず、自施設では研修体制がなかったため、研修プログラムの全てに参加とした。

8. 医療機関受入研修と自施設の研修プログラムやOJTとの連動について(自由にご記入ください)

自施設では、他職種も含めた院内全体の研修のため、OJTや医療機関受入研修との連動はしていない。今後の検討課題としたい。

Ⅲ. 新人看護職員の到達度等の評価に関すること

1. 評価方法(医療機関受入研修施設からのフィードバック等の連携も含めて、自由にご記入ください)

研修終了後には研修レポートを提出させている。他施設での研修に参加することで、学術的・技術的な学びができています。医療機関受入病院からはどのような評価であったかというフィードバックはないので、今後、教えて頂きたい。自施設ではプリセプターと共にガイドラインの到達目標を基盤としてチェックリストを作成し、月1回話し合い、評価をしている。

Ⅳ. 事業の評価等に関すること

1. 医療機関受入研修の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

他施設での研修に参加する事で、学術的・技術的な学びだけではなく、新人(同期)たちとの関わりが精神的支えになっているとも感じた。  
是非、続行して頂きたいと思う。